



# もふもふいす

日中はまだまだ汗ばむ季節ではありますが、トンボが飛んでいたりと、コオロギの音が聞こえたりと少しずつ秋の訪れが感じられるようになってきました。

子どもたちは有り余る体力で、園庭を走り回り、戸外遊びを思いっきり楽しんでいます。

先日は、祖父母参観お世話になりました。おじいちゃんおばあちゃんの姿が見えると、喜びを体全体で表現する子どもたちの姿が見られ、とても嬉しかったです。

たくさんのご参加ありがとうございました。



今月から、シール帳のシール貼りを始めました。シール遊びが大好きな子どもたちなので、「シールするよ」と声を掛けると、「シール!」ととても嬉しそうに取り組んでいました。また、分かりやすいように日付の場所に星マークを付けると、「星さん〜」「キラキラ〜」と星を見つけながら、とても上手に貼ることができ、毎日達成感を感じながら「できた!」と得意気な様子も見られ可愛らしかったです。手先もだんだん器用になってきたことで、シールを剥がすことが早くなったり、決められた場所に貼れるようになったりと成長が感じられました。

友だちと関わり合いながら遊ぶことを楽しみ、会話を交わしながら思いを伝えようと頑張る姿がよく見られるようになってきました。最近では、「あなたのおなまえは?」という触れ合い遊びや、「〇〇ちゃんどこかな〜?」という歌に合わせて保育教諭や友だちと一緒に遊ぶことが大好きな子どもたちです。保育教諭が歌い始めると次々と集まり、みんなで歌いながら楽しんでいます。自分の名前が言えるようになってきた子は、一生懸命名前を伝えたり、保育教諭を真似て、「あなたのおなまえは?」と友だちに聞いてみたりと触れ合い遊びをする中で、言葉が増えてきたように感じます。また、「順番」「交代」の意味を理解しながら、保育教諭が「交代してあげてね」と伝えるとスムーズに「はい!」と玩具を貸してあげる姿がよく見られるようになってきたり、靴下を履く時には「じゅんばんよ」と友だちに伝えたりしながら過ごせるようになってきました。

## ・エピソード・

最近では、遊びの発展をしながら楽しむことが増えてきました。その中で、簡単なごっこ遊びをして楽しんでいる子もよく見られました。ブロックを聴診器に見立てて、お腹をポンポンしていた子の姿から病院ごっこが始まりました。保育教諭が、お腹に“ポンポン”と聴診器を当て始めると、服を上挙げて見てもらおうとしたり、お腹が終わると背中を見せてくれたりと病院で普段してもらっていることをしっかりと理解している上で、思い出しながら患者さん役を楽しんでいました。また、お腹を見てもらおうとする動作や、お薬に見立てた玩具を持ち帰ろうとする行動などが見られ、診察の様子を細かく再現しながらごっこ遊びを繰り返していました。病院ごっこだけではなく、おままごとで遊ぶ際にも、キッチンに鍋を置き、スプーンで混ぜながら料理をする様子や出来上がったご飯を机に置き「いただきます」と食べる様子などもあります。こういったごっこ遊びに自然と繋がるきっかけは、日常の体験やお母さんお父さんの日頃の様子を観察していることが大きく関わっていると思います。何かになりきったり、大人の真似をしたりするなかで、イメージを膨らませながら遊び、創造力や思考力などを育てていく姿を見守っていきたいと思います。



10月1日(火)から衣替えになります。制服は、冬スモック・黄色い帽子に移行を  
よろしく申し上げます。名札の確認もお願いします。



## 10月の予定



18日(金) 身体測定

31日(木) お誕生会